

# 十五夜会 八月踊り 歌詞集

2011/5/19 すあま 作成

## 足習(あしなれ)

1、足なれば なるてい

手(てい)振り振りなるてい

ハレ声(くうい)ならちから

(あ)や踊(うどう)てい うえしろ よんど ハレ

声(くうい)ならちから

ハヤシ(ヒヨヤレヤレ)

声(くうい)ならちから(あ)や踊(うどう)てうえせろよおんど

2、餅(むいち)ふしやむあらぬ

酒(しゆ)受けふしやむあらぬ

ハレ昔親(うや)ふじ(い)ぬしちほしえべろ よんど

ハレ昔親(うや)ふじ

ハヤシ(ヒヨヤレヤレ)

昔親(ふじ)(い)ぬ し(すい)ちほしやべろ よおんど

唄かわせ かわせ

節かわせかわせ

ハレ唄ぬかわりばあどう節むかわる よんど ハレ唄ぬかわりば

ハヤシ(ヒヨヤレヤレ)

唄ぬかわりばあどう節むかわる よおんど

## 今日ぬほこらしゃ

1、今日ぬほこらしゃや 何時よりも勝れ

ハレ何時も今日の如にあらちたぼれ

ヨイゴラサヨイゴラサヌ、ヤリヤコノ

2、頭(かまち)立派(じっぱ)ん結(よ)て芭蕉着(ばしやぎん)ぐわ着せ(すい)てい

ハレ伊子茂 大和船真米 取らそ

ヨイゴラサヨイゴラサヌ、ヤリヤコノ

3、目出た目出たの若松さまよ

ハレ枝も栄える葉も茂る

ヨイゴラサヨイゴラサヌ、ヤリヤコノ

4、直庭(まやん)めぬ 胡椒(くしょう)木ぬ

枝むちぬ 美(きゆ)うらさヤリヤコノ

我島娘(めえらべ)ぬ 体持(どうもち)の美(きゆ)らさ

唄かわせ かわせ

節かわせかわせ

ハレ唄ぬかわりばあどう節むかわる よんど ハレ唄ぬかわりば

ハヤシ(ヒヨヤレヤレ)

唄ぬかわりばあどう節むかわる よおんど

### エーウミ

1、八月やなりゆうり飛(とう)び羽(ばね)やねらぬ

はれ兄弟(うとうじゃ)片羽(かたばね)や からちたぼれ

2、一つある羽た 加那(か)しゃせに着せてい

ハレ吾(わぬ)や奥山(おく)ぬ かずらだすき

3、太鼓(ていでいみ)ぐや打ちば 一里(いち)がてい届(と)うゆ)む

ハレ吾(わ)きた一里(いち)から聞(き)ちど来(き)ゃおたど

4、貴方(な)一(いち)き)も一里(いち)から吾(わ)き)も一里(いち)から

ハレ互(た)に一里(いち)から 聞(き)ちど来(き)ゃおたど

5、遊(あ)そべ遊(あ)べ 二十(にじゅう)歳(さい)がてい遊(あ)べ

ハレ四十(よんじゅう)が声(こゑ)く)い)経(た)たば 思(おも)うも)たばかり

※

唄かわせ かわせ

節かわせかわせ

ハレ唄ぬかわりばあどう節むかわる よんど ハレ唄ぬかわりば

ハヤシ(ヒヨヤレヤレ)

唄ぬかわりばあどう節むかわる よおんど

### 嘉鉄ぬいなくん主

1、嘉鉄(かてつ)ぬいなくん主(ぬ)や

清水(しみず)ぬ寺(てら)かち馬(うま)乗(ぬ)り)が

馬(うま)やなつ(てい)け)ぐ)とう

松がね馬乗りが

ウマレーシヨイナー

馬やなつげづとう

松がね馬乗りが

2、松がねぬ顔(ていら)や

見りば鍋ひくる

織(ぬの)や織(う)らちん見りばや

枝うちさんとゆうみ

ウマレーシヨイナー

織(ぬの)や織(う)らちん見りばや

枝うちさんとゆうみ

3、すいちいとうしばさしや

七日(なぬか)ひだめゆり(むいりゆり)

七日七夜(なぬかななゆる)や

踊(うどう)ていうえすいろ

ウマレーシヨイナー

七日七夜(なぬかななゆる)や

踊(うどう)ていうえすいろ

※

唄かわせ かわせ

節かわせかわせ

ハレ唄ぬかわりばあどう節むかわる よんど ハレ唄ぬかわりば

ハヤシ(ヒヨヤレヤレ)

唄ぬかわりばあどう節むかわる よおんど

ていくてんぐわ

1、ていくてんぐわぬ星(ふし)や

ヨーハレ 照(てりや)りばどう美(きゆ)らさ

ヒヤルヤールヒヤルガヤッサイ マタチガヤッサイ

2、吾きやが二十頃や

ヨーハレなほもまた美らさ

ヒヤルヤールヒヤルガヤッサイ マタチガヤッサイ

3、八月やなりゆうり

ヨーハレ翔(とう)び羽やねらぬ

ヒヤルヤールヒヤルガヤッサイ マタチガヤッサイ

4、兄弟(うとうじゃ)片羽(かたばね)や

ヨーハレ借らちまた給(たぼ)れ

ヒヤルヤールヒヤルガヤッサイ マタチガヤッサイ

※

唄かわせ かわせ

節かわせかわせ

ハレ唄ぬかわりばあどう節むかわる よんど ハレ唄ぬかわりば

ハヤシ(ヒヨヤレヤレ)

唄ぬかわりばあどう節むかわる よおんど

**はまさき**

1、浜先に這ゆる

根ぬかでいらヨハレ

生え先ぬ無だな

元に戻ろヤシヨラ

2、元どう元なりゆり

先じ根ぬ咲きゆむいヨハレ

先じ根ぬ咲きゆすい

根無しかでいらヤシヨラ

3、天ぬ美ら星や

読みば読みなりゆりヨハレ

親ぬ教すい事や

読むやならぬヤシヨラ

4、山ぬ木ぬ高さ

風に憎まりゆりヨハレ

肝高さ持ていば

他人に憎まりゆりヤシヨラ

**諸鈍長浜**

1、諸鈍ぬ長浜に 打ちやげ引く波や

ヒヤルガエハレ

諸鈍ぬ美童ぬ笑い歯茎

2、諸鈍ぬ美童や 雪ぬゆな歯茎

ヒヤルエハレ

何時が夜ぬ暮りいていみ口吸おうか

3、諸鈍ぬ長浜や 大和がでい響(とうゆむ)む  
ヒヤルガエハレ  
諸鈍ぬ美童や 島中響む

4、浦々ぬ深さ 諸鈍ぬ浦ぬ深さ  
ヒヤルガエハレ  
諸鈍ぬ美童ぬ 思めぬ深さ

### 千鳥浜

千鳥浜千鳥ハレ 何(ぬ)が汝(うら)や鳴きゆり  
母(あんま)面影(うもかげ)ぬハレ 立ちどうまた鳴きゆり

面影ぬ立ていばハレ 亡き迄(がでい)やすいるな  
泣ちゆてい思(うめえ)出(じゃ)すいばハレ勝ていまた立ちゆり

吾ぬや此ぬシマハレ 親(うや)親戚(はろじ) 居らぬ  
吾ぬ愛しやしゆん人(ちゆ)どうハレ親親戚なりゆり

高さハナ 登ぼていハレ 親ぬシマ見りゆり  
涙(なだ)ぬうさわられていハレ見りやまたならぬ

今日(きゆう)や此処(くま)寄りやていハレ色々ぬ遊び  
明日(あちゃ)やシマ戻(もどう)ていハレい沙汰またばかり

### イショクンバ ハナティンバ

十七、八頃や 夜ぬ暮れどい待ちゆり  
何時が夜ぬ暮れて 吾自由なりゆり なりゆり  
アフレアオサト イショクンバ ハナティンバ

遊べそべ遊べ 二十がでい遊べ  
四十が声立たば 思たばかり ばかり  
アフレアオサト イショクンバ ハナティンバ

遊び夜ぬ浅さ 夜寝と思えば夜中  
鳥ぬ歌とう思ば にや夜ぬ明けてい あけてい  
アフレアオサトイショクンバ ハナティンバ

遊び好き吾きやが 遊びていちからや  
吾家ぬ立つ所帯や 覚やねらぬ ねらぬ  
アフレアオサト イショクンバ ハナティンバ

唄かわせかわせ 節かわせかわせ  
唄ぬかわりばどう 節むかわる かわる  
アフレアオサト イショクンバ ハナティンバ

### あまたさがり

あまた下がりぬ とんていぶり ハレ  
家ん腰下がりぬう 長なびら  
うもれうもれ 年寄人んきや ハレ  
煮ちゆて うえしろ 年寄人んきや

今日ぬ誇らしやや ハレ  
何時ゆるも勝れヨ ハレ  
何時む今日ぬぐとうに ハレ  
あらちマタ 給れヨ

今日ぬよかる日に ハレ  
吾が祝ていうかばヨ ハレ  
月ぬ経つ経ちに ハレ  
御祝マタばかりヨ

あつから とうでいきゆん  
ゆむんどうりくわ  
しいていついぬ しゃなんてい  
くわば なちいよ  
だきゆんちゆん うらんば  
しいかしゆんちゆむう うらんば

あちらの方から 飛んでくる  
すずめ  
蘇鉄(そてつ)の 下で  
子供を生んで  
抱いてくれる人は いないし  
あやしてくれる人も いないし

わきやや やくむい  
たんどうていヨ一  
ちゆゆる たんでい だかそ  
たゆる たんでい だかそ  
みゆる たんでい だかそ

わたしのお兄さんに  
頼んだのですよ  
一夜 頼んで 抱いてもらおう  
二夜 頼んで 抱いてもらおう  
三夜 頼んで 抱いてもらおう

### 共通歌詞

なみやひぎやまわり 吾(わ)ぬや西まわり あなたは東まわり 私は西まわり  
まわりまわていから 一道(ちゆみち)なろや まわりまわって 一つの道になりましょう

いていむ きゆうぬ ぐとうに ありば 玉黄金(たまぐがにい)  
ぬちに くにしぬうぎ わがゆ とりゆり

くぬしぬうぎ とりゆち うやや なちうかむ  
なましぬうぎ とりゆち うきよ ながし